

地域包括ケアの地区展開

令和6年度

太子堂

地区アセスメント

人口	面積 （k m ² ）	人口 （人）	人口 密度 （人/k m ² ）	高齢者 人口 （人）	高齢化 率（％）	年少人 口（人）	年少人 口率 （％）	世帯数 （世帯）	平均世 帯人数 （人）	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持 者		障害サービス受 給者	
										高齢単 身者世 帯数	高齢者 のみ世 帯数	その他 高齢者 がいる 世帯		世帯率 （％）	内高齢 单身・ 高のみ 世帯率	認定者 数（人）	認定率 （％）	身体障 害者手 帳	愛の手 帳	自立支 援給付	障害児 通所給 付
	1.048	24,024	22,924	4,038	16.81％	2,051	8.54％	15,740	1.53	3,087	1,627	658	802	19.61％	14.52％	863	21.37％	397	63	84	56
	傾向 令和６年４月１日現在、高齢化率は16.81％と区の平均（20.49％）を下回る。一方で、年少人口も8.54％と区平均（11.34％）より低い。高齢者は少ないが、子どもも少ない。平均世帯人数が1.53人で区平均（1.84人）より低いことから、単身世帯が多い地区であると推察される。また、昼間常住人口比率が150％近くと高く、住宅都市せたがやの中では、特徴的な数字を示している。																				
地域活動																					
	町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数					社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポータ登録者数	生活支援体制整備事業協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数		主な活動団体とその取組内容							
			サロン	子育てサロン	ミニデ イ								地区内の諸問題の解決を図り、各種団体との密接な関係を保ちながら、地域の核として自主的な活動を行っている主な団体　○太子堂地区連合町会、日赤奉仕団太子堂分団、身近なまちづくり推進協議会、ごみ減量・リサイクル推進委員会、民生委員児童委員協議会、青少年太子堂地区委員会、太子堂地区社会福祉協議会、見守りネットワーク会議（地区情報連絡会） ○子育て支援者ネットワーク会議								
	7	9,785	12	10	1	1		0	17	35	1	2									
生活支援	地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム	うち、特定施設入居者生活介護	障害者・児　通所系・共同生活介護等							
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム							障害者通所支援（わんぱくクラブ三軒茶屋）、障害者就労支援施設（障害者就労支援センターすきっぷ分室クローバー、障害者支援センターしごとねっと）、就労継続支援B型施設（リバティ世田谷、アンシェーヌ藍（F a c t o r y 藍分場））、共同生活援助（ちゃお三軒茶屋）							
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0								
	障害相談支援機関・相談支援事業所																				
	スペース　ココカラ。、ぷらっとホーム世田谷　、ぷらっとホーム世田谷分室、世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」																				
医療	医療機関、訪問看護等 ○病院４か所（三軒茶屋病院、三軒茶屋第一病院、東都三軒茶屋リハビリ病院、青葉病院）　○介護老人保健施設（ホスピア三軒茶屋）　○一般診療所４４か所　○歯科医院１９か所　○薬局３１か所（診療所・歯科医院・薬局の個所数は「ハートページ世田谷区　介護サービス事業者ハンドブック２０２３～２０２４年」による）																				

子ども・教育	児童館	池尻児童館、新ＢＯＰ（太子堂小学校新ＢＯＰ、中里小学校新ＢＯＰ）
	その他、児童施設（保育園・幼稚園を記載 認証保育所等は除く）	太子堂保育園、三軒茶屋保育園、昭和ナースリー、太子堂なごみ保育園、つくし保育園、鳩ぽっぽ保育園、三宿の杜なごみ保育園、もみの木保育園太子堂、世田谷幼稚園
	おでかけひろば	子育てステーション世田谷（おでかけひろば、ほっとステイ、発達相談室）
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	太子堂小学校、中里小学校、昭和女子大学附属昭和小学校
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	太子堂中学校、三宿中学校、昭和女子大学附属昭和中学校
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	昭和女子大学、昭和女子大学附属昭和高等学校、テンプル大学ジャパンキャンパス
	保育施設（認証保育所等）	きらりこどもクリニック病児保育室 病児保育室アップル、認定こども園（昭和大学附属昭和こども園）、認証保育所（三茶こっこ保育園、都市型保育園ポポラー東京三軒茶屋園、ニチイキッズ三軒茶屋保育園）、小規模保育事業（もみのきMom太子堂）
	子どもに関するその他の事項	
	子ども食堂（せたがや子どもバル・虹、Pistaの子ども食堂、子ども食堂HUG ME Project）、学習支援（歩の会）、おしゃべり会（あゆみルーム）	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	世田谷文化生活情報センター、生活工房 パブリックシアター、世田谷区男女共同参画センター「らぶらす」、世田谷若者総合支援センター（メルクマールせたがや、若者サポートステーション）、若者の居場所「あいりす」、せたがや国際交流センター「クロッシングせたがや」、教育相談室世田谷分室、三茶おしごとカフェ（世田谷区三軒茶屋就労支援センター）、ワークサポートせたがや（世田谷区ふるさとハローワーク）	
公共施設	図書館	なし（図書館カウンター三軒茶屋のみ）
	地区会館、区民集会所など	太子堂区民センター、三軒茶屋区民集会所、世田谷区民会館別館「三茶しゃれなあどホール」、スカイキャロット展望ロビー

住 まい ・ 環 境 ・ 防 災	主な公園・緑道・広場		三軒茶屋ふれあい広場、烏山川緑道、世田谷区立公園条例上の公園（区立アメンボひろば公園、区立かえるひろば公園、区立かどっこひろば公園）
	土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）		
	区の東部に位置し、国道２４６号と淡島通り沿いの小高い地形と、烏山川沿いの谷状低地が混在している。三軒茶屋駅周辺は活発な商業地でいくつかの商店街がある一方で、一步入ると古くからの住宅地等があり、農村からの地形を引き継ぐような狭小な道路も多くある。住宅の不燃化も進んでいるが、密集していることから、防災まちづくりや災害対策を進める上での課題になっている。		
	交通の便に関する事項（鉄道・道路）		
	鉄道は、東急田園都市線と東急世田谷線三軒茶屋駅、世田谷線西太子堂駅があり、三軒茶屋駅は１日の平均乗降人員は、１３１，９８６人（２０２３年度田園都市線２０２２年度より△５．６％）と、区内の中では、下北沢駅、二子玉川駅とともに、利用者の多い駅の一つである。道路は、国道２４６号線、首都高速３号線、世田谷通り、茶沢通り、淡島通りに囲まれており、交通量も極めて多く、交通の要衝の地である。		
産業に関する事項（買物・商店街などを含む）			
駅周辺は商店街が複数あり、二子玉川、下北沢と並んで、区を代表する商業の中心地である。三茶おしごとカフェ、商業関係団体の事務所などもあり、産業の中心地である。また、文化生活情報センター、パブリックシアター、男女共同参画センター「らぷらす」、世田谷若者総合支援センター、ぷらっとホーム世田谷など、区内唯一の施設が多く集積し、拠点的特徴を示す場所になっている。			
防災 → 各地区の地区防災計画を参照			

地区課題解決の取り組み	地区ビジョン
	『住んでよかったまち太子堂・三軒茶屋』から、『住みたいまち太子堂・三軒茶屋』へ ●教訓を活かした安全・安心の基盤づくり ●多世代交流による太子堂・三軒茶屋の元気づくり ●自分のまち、太子堂・三軒茶屋を好きになる環境づくり
	課題、取り組みの方向性
	1 子どもの居場所確保と多世代交流の促進 地区管内に児童館、図書館、広い公園がないため、遊びや学習の場を含めた居場所の確保が課題となっている。このため四者連携会議では、地域活動団体と連携し、総合支所の支援のもと「そと遊び」や「みち遊び」プロジェクトを進めるなど、特に子どもの「遊び」を重視した取り組みを進めている。このことを通して、子どもが子ども同士や地域の様々な大人と交流し、様々な課題に挑戦する環境を整え、挑戦する心や責任感、自己肯定感を地区の中で育んでいく。また、地区の大人たちも子どもを寛容な意識で見守ることで、多世代交流を図る取り組みにつなげていく。 2 地区住民の交流・活動・参加促進のための「人」と「場」の確保 集会施設の利用率が高く、広域の住民による施設利用も多いため、地区の支えあい活動等の拠点が不足しており、地区住民の交流・活動・参加の機会が限られている。このため、地区で働き学ぶ「人」や、活動する「場」の確保を図るため、商店街、民間事業所、大学等との地区内のネットワークを最大限に活用して、会議や打合せの場を確保するとともに、様々な人材の参加を促進してきたところである。引き続き地区活動への運営参画や参加を働きかけるとともに、地域活動を通じたスペースの借用など「人」と「場」を確保する取り組みをすすめていく。 3 地区の特色を生かした地区防災力の向上 令和6年度の地区防災訓練では、町会、地区住民とともに、太子堂小学校の児童も防災訓練に参加し、災害等が発生した場合の自助について理解を深め、地区で活動する意識を高めることができた。また、体験型防災フェア、あんしんフェア、オレンジの日等の定着しつつある行事や「そと遊び」や「みち遊び」等の取り組みを通して、商店街、民間事業者、大学生や小中学生との平常時からの交流や関係づくりを深め、昼間人口が多い地区における防災への備えを強化して、防災力の向上につなげていく。
	参加と協働の地域づくりの取り組み内容 上記1～3の取り組み内容の通り